

自然環境に配慮した取り組み

礫河原の再生

樹林化が進んでいる河原をかつての礫河原を再生するため、樹木伐採と礫河原再生の土工事を実施。

施工前



外来種で樹林化した河原

施工後 礫河原再生整備後



多自然川づくり

生物の良好な生育環境に配慮し、自然景観を保全・創出するため、多自然川づくりを行っている。

完成



完成後(10年)



瀬・淵が形成された

河川植生の保全

絶滅危惧種であるカワラノギクを保全するため、外来種の駆除も併せて、試験圃場を設置。

カワラノギクの生育に適した土壌を把握するため、3種類の礫層を設置。

施工前



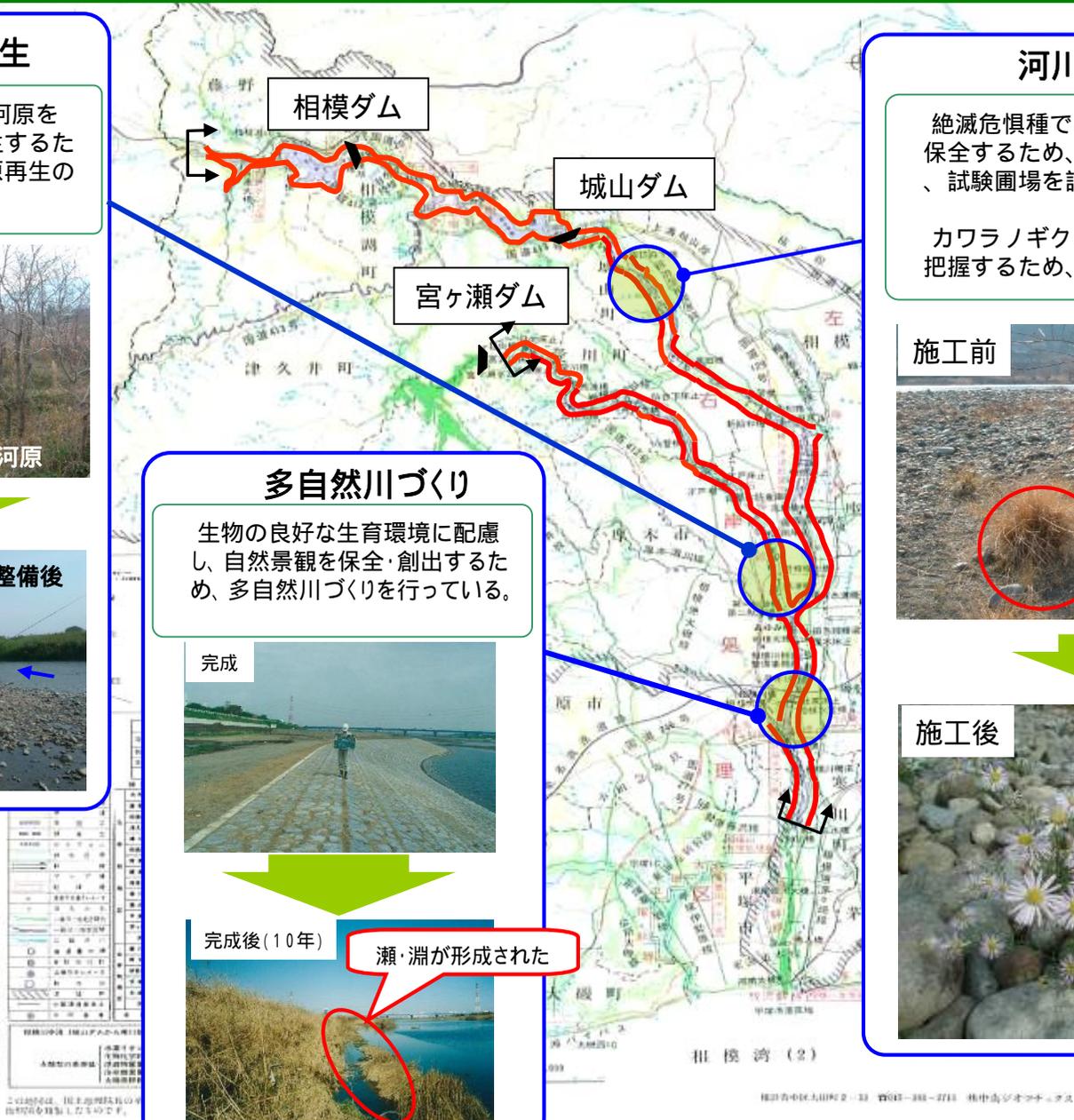
ハリエンジュ

シナダレスズメガヤ

施工後



開花したカワラノギク



この地図は、国土環境省の資料を基に作成されています。